

令和3年度
八戸市博物館
夏季特別展

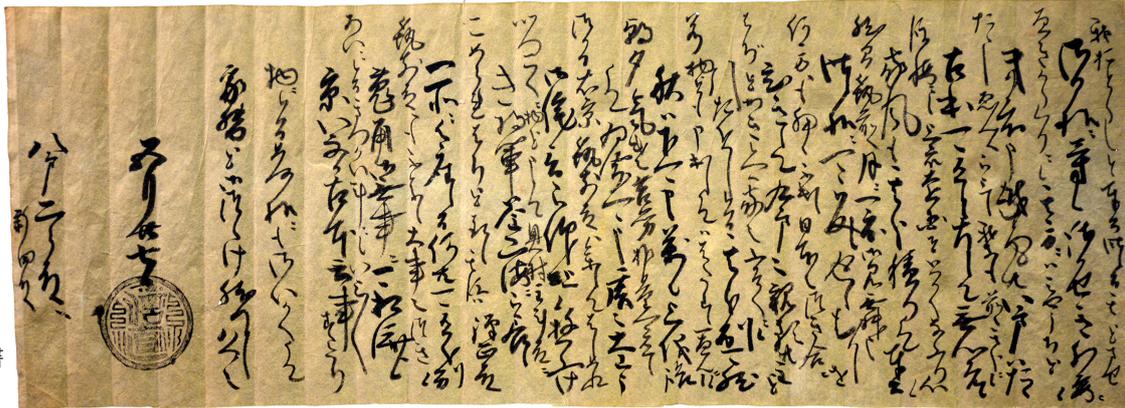
乱世の終焉

7月10日(土)～8月29日(日)

—根城南部氏と城—

建武元年(1334)に南部師行によって築城されたと伝えられる根城は、城館としての地形が良好に残ることから、昭和16年(1941)に国史跡に指定されました。

今年、史跡指定80年の節目を記念し、戦国期から江戸初期の根城南部氏の動向を史料からたどり、根城と近隣城館の出土遺物や研究成果から動乱の時代を生き抜いた根城南部氏に迫ります。



南部家文書
(影写本)

関連行事

※要申し込み(②を除く)

- ①-1 講演会「九戸城と九戸一揆」
日時:7月31日(土)13:30～
講師:柴田知二(二戸市埋蔵文化財センター)
- ①-2 講演会「四天之御一家 -新田家-」
日時:8月21日(土)13:30～
講師:滝尻侑貴(市立図書館)
- ② 特別展ギャラリートーク
日時:①7月10日(土)②8月21日(土)各日10:00～
講師:同館学芸員
- ③ 弘前大学農学生命科学部ワークショップ
「中世にみられたコメ-色と香りの不思議-」
日時:7月24日(土)10:00～、13:00～、15:00～
会場:体験学習室
定員:小・中学生とその保護者各回5組(1組3人まで)
協力:石川隆二(弘前大学農学生命科学部)
- ④ 栽培実習「中世の田んぼで赤米を育てる」
協力:弘前大学農学生命科学部
すまもり中世の田んぼクラブ
- ⑤ 小中学生のための城歩き講座
①三戸城編～石の城を歩く～ ②根城編～土の城を歩く～
日時:①7月4日(日) ②7月18日(日)
場所:①三戸城 ②根城
①協力および申込先:三戸町教育委員会
☎0179-20-1157(平日9時から17時)



ろくじゅうにけんすじかぶと
六十二間筋兜
(三戸町教育委員会蔵)



鉄砲玉(根城跡出土)



鉄(伝・清心尼墓出土:遠野市教育委員会蔵)

園博物館 ☎44-8111 根城字東構35-1 開9:00～17:00(入館は16:30まで) 休7/12(月)・19(月)・26(月)、8/10(火)・16(月)・23(月)【入館料】一般300円、高校・大学生150円、小・中学生50円※市内の小・中学生は無料。市内在住の65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額【協力機関】青森県埋蔵文化財センター、青森県立郷土館、もりおか歴史文化館、一戸町教育委員会、二戸市教育委員会、三戸町教育委員会、七戸町教育委員会、南部町教育委員会、遠野市立博物館、八戸市立図書館、八戸市埋蔵文化財センターは川縄文館、弘前大学農学生命科学部、八戸工業大学、清水寺、新井田八幡宮、小田八幡宮

クジラの村－山から海へ出た男たち－

7月17日(土)～10月17日(日)

【前期】7月17日(土)～8月29日(日)

【後期】9月4日(土)～10月17日(日)

昭和10年代に始まる旧・中沢村(後・南郷村、現・八戸市南郷)の出稼ぎ捕鯨は、戦後徐々に従事者が増加し、最盛期を迎えた昭和30年代当時の南郷村は、山の中にありながら「クジラの村」と呼ばれました。こうしたことから、南郷地域には捕鯨会社の名前が付けられた公園と、実際に使われた捕鯨砲および記念碑があるほか、捕鯨従事者の資料も多く残されており、出稼ぎ捕鯨の歴史を今に伝えています。

本展では、当館所蔵の捕鯨関係資料や従事者の体験談、現在行われている商業捕鯨にまつわる資料などを紹介し、クジラという海の資源と私たちの暮らしとの結びつきを振り返りながら、「クジラ」と「人間」の関係について身近な視点から考えます。



捕鯨船模型



ミンククジラの頭骨

併催行事 ※要申し込み・参加費無料

<p>①-1 特別展講演会 「捕鯨の歴史とクジラの種類、体のつくり等」 日時: 7月22日(木・祝) 14:00～ 講師: 後藤睦夫(一財)日本鯨類研究所 定員: 20人</p>	<p>①-2 特別展講演会 「市野沢地区の出稼ぎ捕鯨について」 日時: 8月28日(土) 14:00～ 講師: 村上石蔵(元捕鯨従事者) 定員: 20人</p>	<p>② 体験学習会 「すごいぞ!クジラの骨」 日時: 7月25日(日) 14:00～ 講師: 杉山陽亮(市教育委員会) 定員: 15人</p>
<p>③ 体験学習会「うまいぞ!クジラの肉」 日時: 9月19日(日) 11:00～ 講師(調理): ふるさとルネッサンス、 食文化を守り伝える会 定員: 10人</p>	<p>④ 特別展ギャラリートーク 日時: 7月31日(土)、8月29日(日)、 9月25日(土)、10月16日(土) (各日14:00～) 定員: 各5人</p>	<p>※予約は、南郷歴史民俗資料館へ電話でお申し込みください。各行事の予約開始日は、直近の広報はちのへでお知らせします。</p>

主な展示資料

- 本草資料「人魚の牙」(八戸市博物館所蔵)
- 重要文化財「漁撈用具(鯨骨製イカ釣り針)」
- 八戸青年会文庫「本邦乃諾威式捕鯨誌」
- 捕鯨船模型
- 捕鯨従事者による工芸作品
- 鯨の骨、ヒゲ、歯、耳骨など



特別協力: 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

園南郷歴史民俗資料館 83-2443 南郷大字島守字小山田7-1 月曜日(第一・祝日を除く)、祝日の翌日、8/31(火)～9/3(金) 展示入れ替えのため【入館料】一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円 ※市内の小・中学生は無料。市内在住の65歳以上、障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額